

## 平成 7 年 9 月以降に当センターにおいて

### 病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

#### (1) 研究の概要について

当センターでは下記の研究機関と共同で「剖検例を用いた副腎の細胞老化および形態学的変化に関する検討」を実施しております。

副腎は左右腎臓の上方にそれぞれ 1 個ずつ位置しており、各々 6~7g 程度の比較的小さな臓器です。表面より球状層、束状層、網状層と呼ばれる 3 層からなる皮質と最内側の髄質から構成されています。球状層からは血圧に関連するアルドステロン、束状層からはストレスに関連するコルチゾール、髄質からはアドレナリンというホルモンが主に合成・分泌されていますが、いずれも血中濃度に加齢に伴う大きな変動はないことが知られています。また、網状層で合成・分泌される性ホルモンである副腎アンドロゲンに加齢に伴い血中濃度が低下すると言われていています。

加齢に伴い、副腎を構成する個々の細胞も「老化」します。しかし、皮質各層および髄質の加齢に伴う「細胞老化」の詳細はほとんど報告されていません。また、形態学的な変化の詳細もほとんど知られていません。この細胞老化や形態学的変化と加齢の関連を検討する予定です。

具体的には平成 7 年以降に東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。また、共同研究機関である公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院および東北大学病院で病理解剖された方も研究の対象となります。東北大学病院からは検体を郵送にて提供いただきます。

病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を承りますようお願い申し上げます。

この研究への協力承諾の撤回を希望される場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「加齢に伴う副腎の細胞老化および病理組織学的変化に関する検討」

「承認番号：R17-56」

研究期間：承認後～平成 33 年 3 月 31 日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医師

野中敬介

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長

新井富生

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医長

松田陽子

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医師	柿崎元恒
東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・部長	石渡俊行
東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・副部長	相田順子
東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・医師	石川直
東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・医師	田久保海誉
公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院・検査科・部長	鄭子文
東北大学大学院・医学系研究科病理診断学分野・教授	笹野公伸

## (2) 研究の意義・目的について

副腎皮質 3 層および髄質それぞれの領域で、加齢に伴う細胞老化や形態学的変化が特に進行する年齢層を推定し、副腎機能低下に関連する疾患の予防・治療に貢献することを目指しています。

## (3) 研究の方法について

染色体の末端に存在する「テロメア」といわれる構造は加齢により短縮することが知られています。このテロメアは細胞老化の指標になるため、各年齢層の病理解剖で得られた副腎検体を用いて、テロメアの相対的長さを計測し、加齢との関連を検討します。

## (4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後、5年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の場所で、厳重に保管します。

## (5) 資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法についてはご遺族の希望に応じて、資料の要求または閲覧ができます。本研究の結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者とその旨をお伝え頂ければ、他の研究者に不利益が及ばない範囲で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

## (6) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 野中敬介  
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2  
電話 03-3964-1141 内線 2412 (平日 9:00~17:00)